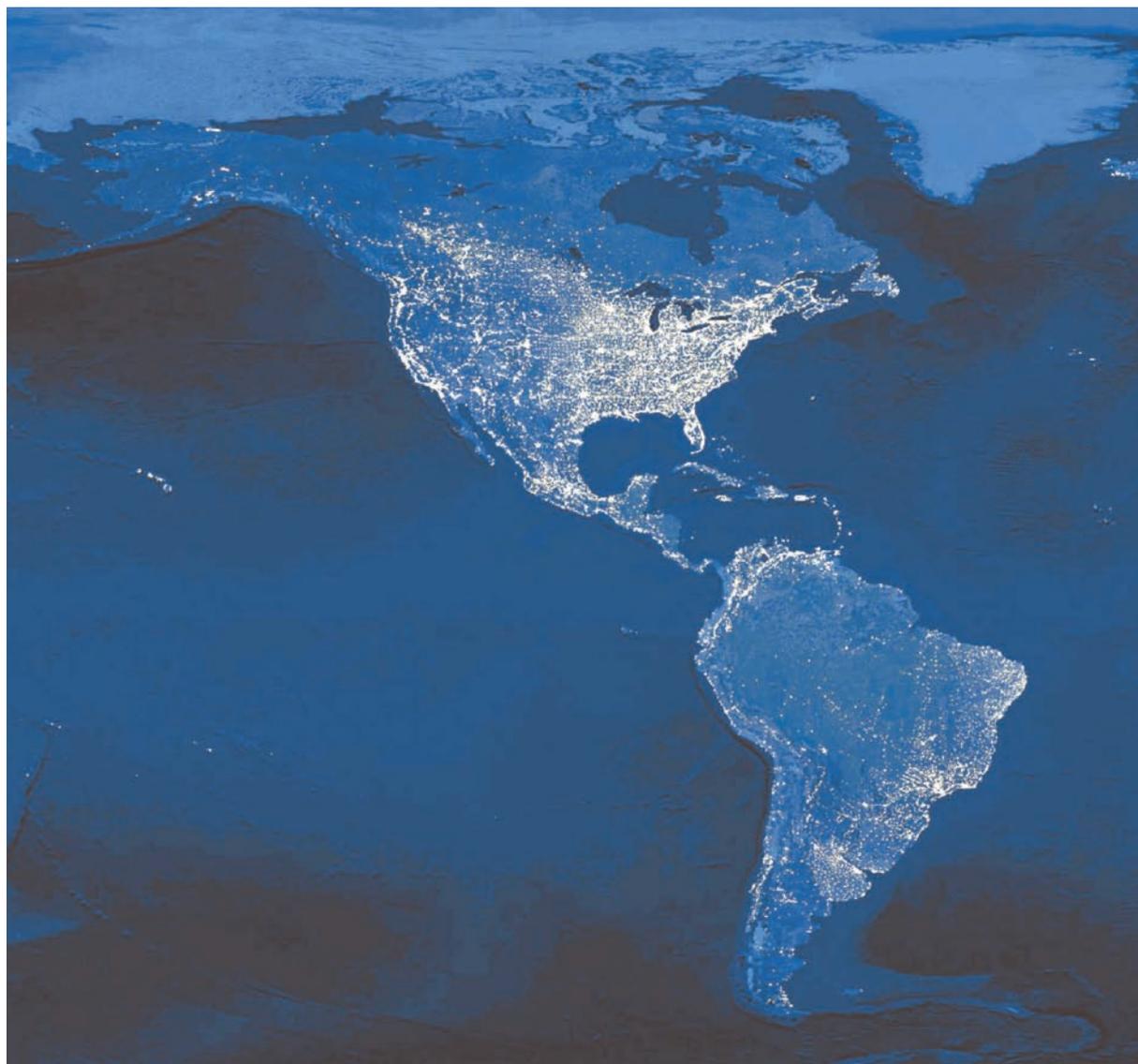


【地球温暖化防止に向けて】

Earth's City

衛星画像による夜の地球の状況



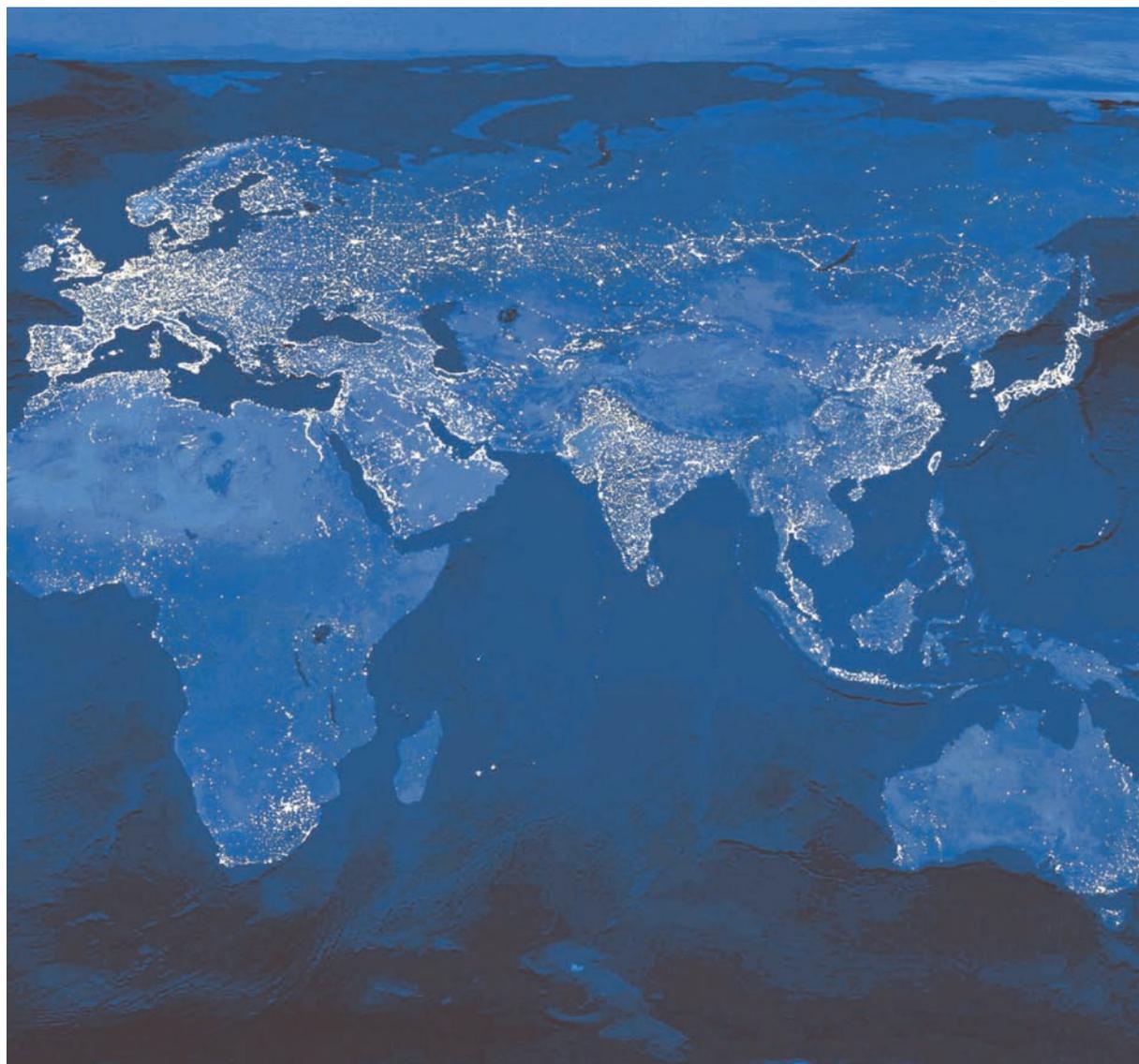
この写真は、夜の地球の様子を人工衛星から撮った写真です。

この光は、「都市部の人の活動による光(照明や自動車のヘッドライト)」、「油田の炎」、「漁り火」などです。

都市部は光に満ちあふれ多量のエネルギーが消費されていることがうかがえます。

Lights by NASA

PHOTO:NASA (http://veimages.gsfc.nasa.gov//1438/earth_lights_lrg.jpg)



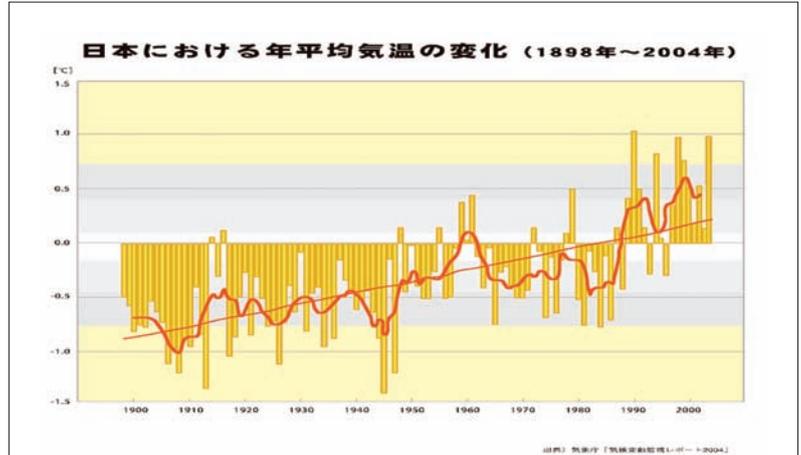
地球が生まれて46億年。この長い時間の中で、人類が地上に現れたのは400万年～500万年ほど前だと言われています。そして1万年ほど前に農耕や牧畜をはじめ、生活が安定してきた頃から、人口の増加が始まりました。20世紀に入ってその数は急激に増加し、1900年に17億人足らずだった人口は2003年に63億人を超えました。そして、この人口の大幅な増加こそ、21世紀において世界の環境や人類社会の秩序を激変させる最大の要因です。人口増加に対応するための大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムは、地球環境に対し、大きな負担をかけ、そのことによってかけがえのない自然環境がバランスを崩し始めています。

地球温暖化防止に向けて

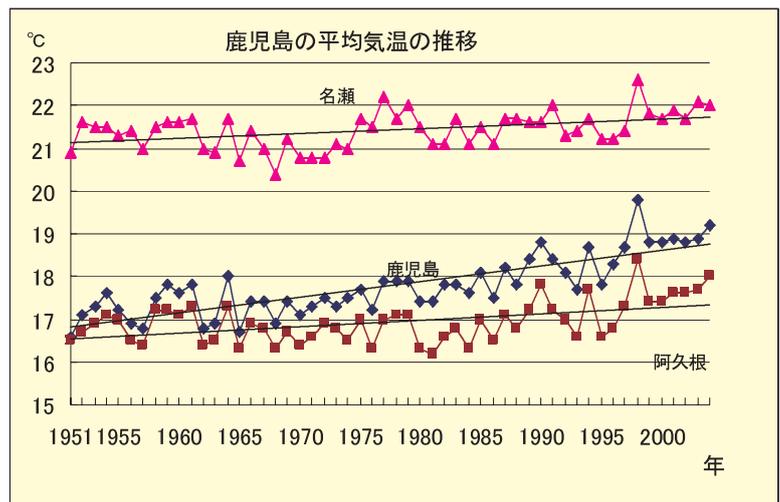
～鹿児島県の現状と対策～

日本での地球温暖化の影響の兆候

地球温暖化とは、石油や石炭などの化石燃料の大量消費に伴い、二酸化炭素など温室効果ガスの大気中の濃度が増えて、地表から宇宙への熱の放出がさえぎられ、気温が上昇していく現象です。日本ではこの100年に約1℃平均気温が上昇し、異常高温発生件数が増加しています。近年、サクラなど植物開花時期の早まり、イチヨウやカエデなどの紅葉、落葉の時期の遅れ、動植物の生息域の変化など生態系の分布に変化が現れており、豪雨の発生頻度の増加なども観測されています。

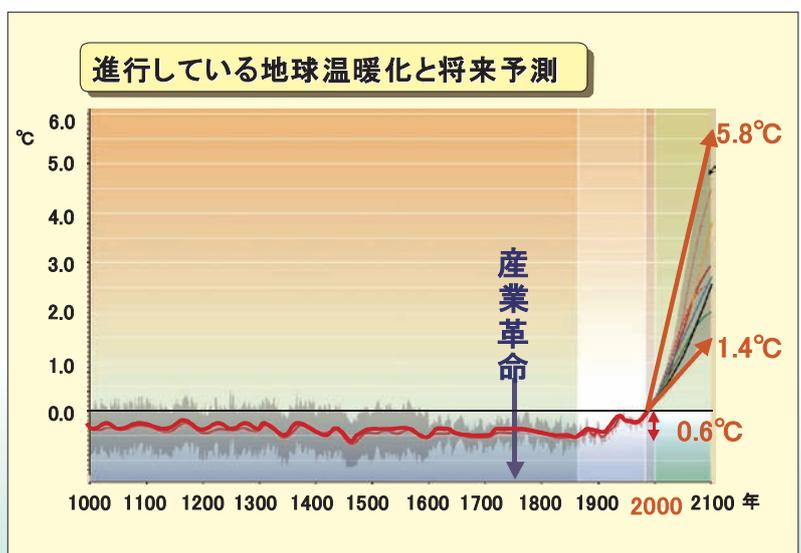


本県においては、年平均気温は過去50年間で、鹿児島市で約1.8℃、阿久根市で約0.7℃、名瀬市で約0.6℃上昇しています。(鹿児島市は都市化の進行によるヒートアイランド現象も影響しています。)また、本来南方に生息しているヤンバルトサカヤステ、キオビエダシヤク、ヤシオオサゾウムシ等が異常に発生し、また、生息域が拡大・北上し、住民生活や動植物に様々な影響を与えています。



日本での地球温暖化の影響の兆候

「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」では将来の温室効果ガス排出量の変化とそれに伴う気温上昇など一連の予測を行っています。その結果、温室効果ガスの増加は、地球の気候システムのエネルギーバランスを崩し、気温の上昇や海面上昇、異常気象などの変化を引き起こし、自然生態系や人間社会に悪影響をもたらすと予測されています。





気温の上昇
1.4~5.8℃(2100年)



水不足



健康被害

マラリア等の感染症
の拡大
熱中症患者等の増加



海面の上昇
9~88cm上昇(2100年)

さまざまな 影響



異常気象
洪水や干ばつの増大



雨と雪の減少



生態系の変化
生態系の移動
一部動植物の絶滅



食生活への影響
多くの地域での穀物生産量の減少

地球温暖化対策推進計画の策定

このような地球温暖化問題に取り組むための国際的な枠組みである京都議定書が平成17年2月発効し、我が国は温室効果ガス排出量を1990年比で6%削減することが国際的な義務となりました。この京都議定書での削減約束を達成することは決して容易なことではなく、国民各界各層の脱温暖化社会づくりへの理解と具体的行動が求められています。

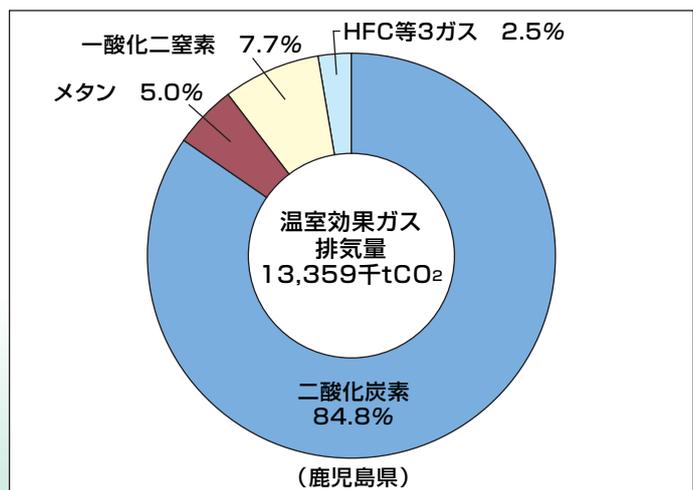
このような状況を踏まえ、県では、県民、事業者及び行政がそれぞれの立場で地球温暖化防止の取組を進めていくための具体的行動指針として、平成17年3月、「県地球温暖化対策推進計画」を策定しました。

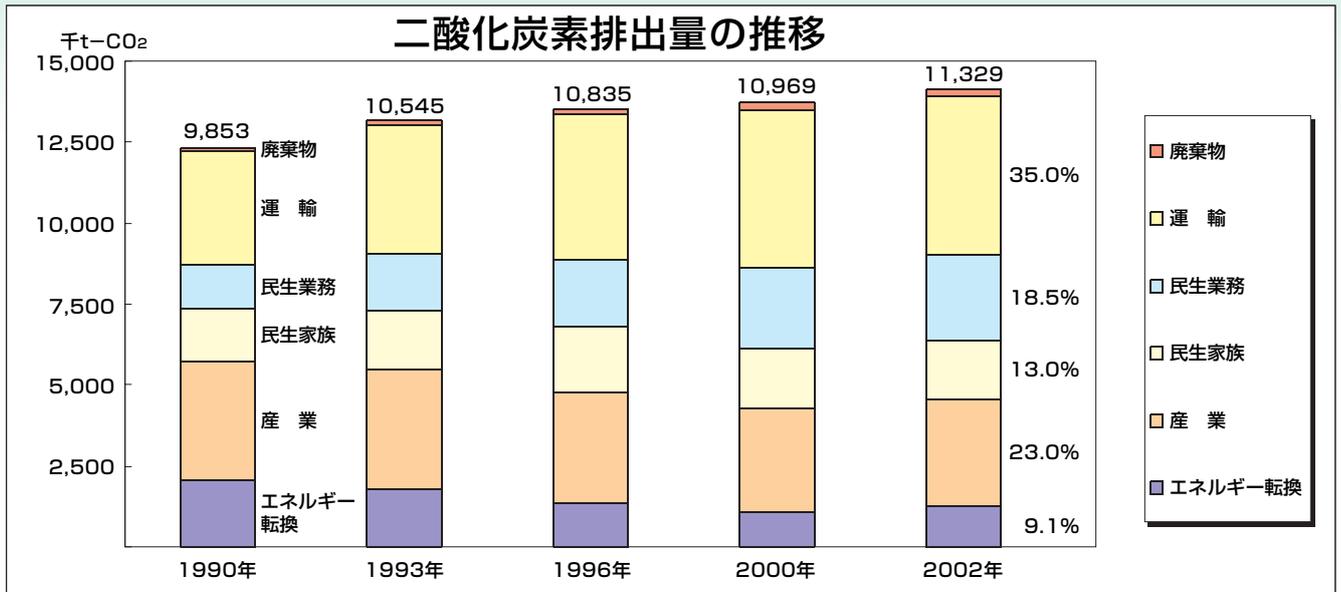
鹿児島県の温室効果ガス排出量

本県における2002年の温室効果ガスの総排出量は、13,359千t-CO₂であり、全国の排出量の約1%となっています。また、本県の総排出量のうち、二酸化炭素が約85%と大部分を占め、以下、一酸化二窒素7.7%、メタン5.0%などとなっており、メタン、一酸化二窒素の占める割合が全国と比較して大きく、農業県としての特徴を示しています。

本県の二酸化炭素排出量は、部門別でみると運輸部門35%、産業部門23%、民生業務19%、民生家庭13%となっています。

また、2002年の排出量は1990年に比べ約15%の伸びとなっており、特に、民生業務及び運輸部門の増加率が全国に比べ大きい状況がみられます。

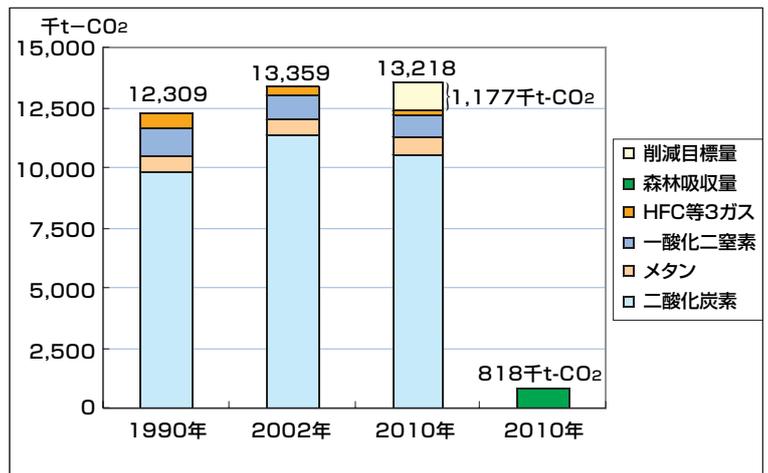




排出抑制目標

本県の温室効果ガスの排出量は、現状のまま今後新たな対策を講じない場合には、2010年には2002年に比べ約8%増加すると予測されます。

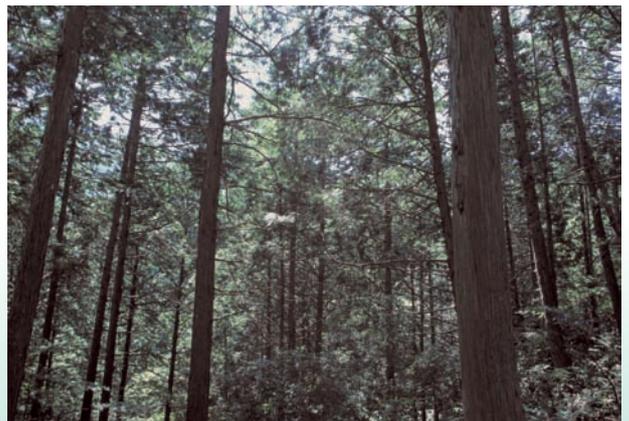
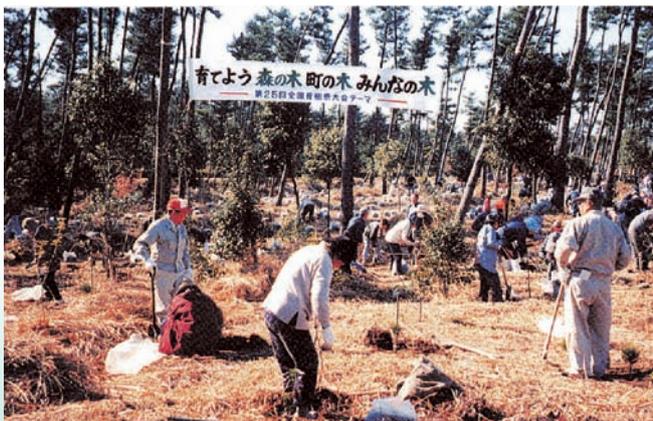
このため、現状では増加傾向にある本県の温室効果ガスの排出量を、2010年までに2002年レベルから約1%削減するという目標を掲げ、新エネルギーの導入、地球にやさしい県民運動の推進による省エネ等の普及啓発、低公害車の普及など各部門で排出抑制対策に取り組むこととしました。



森林吸収量

県土の土地利用をみると、森林の割合が最も高く約64%となっています。森林による二酸化炭素の吸収は、重要な温暖化防止対策として位置づけられています。

「県森林吸収源対策推進プラン」等に基づき、県下の人工林、保安林等において、間伐など適切な整備・管理が実施された場合、2010年の二酸化炭素吸収量は818千t-CO₂程度と推計され、これは2010年の本県の温室効果ガス排出目標量の約6%に相当します。



温室効果ガスの削減対策

【県民の取組】

地球温暖化問題が、現代の快適で便利な生活様式によって引き起こされていることを強く認識し、これまでの資源やエネルギーを大量に消費する生活様式を見直し、家庭生活において継続して実践できることから始め、環境に配慮した生活様式を身につけていくことが重要です。

①家庭での使用エネルギーの節減

- ・冷暖房の適切な温度設定など家庭でのエネルギー管理の推進
- ・環境家計簿を活用した省エネルギーの取組推進
- ・家電製品の購入時の省エネルギータイプの選択



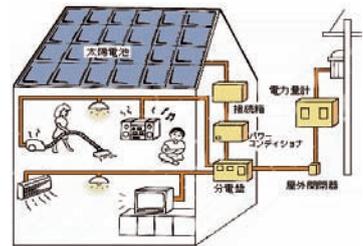
②自動車の適切な利用等

- ・低公害車の導入
- ・アイドリングストップなどエコドライブの推進
- ・公共交通機関の利用
- ・短い距離での徒歩や自転車利用
- ・ごみの発生抑制、再使用、再利用の推進（3R）
- ・使い捨て製品の使用自粛、グリーン購入の推進
- ・マイバッグの持参
- ・ごみの分別、リサイクルへの取組推進



③住宅の省エネルギー化等の推進

- ・太陽光発電システムの導入などの推進
- ・断熱材、複層ガラス等の導入による断熱構造化
- ・敷地の緑化、屋上、ベランダなどの緑化



住宅用太陽光発電システム

【事業者の取組】

社会経済の持続的な発展のために、その役割を認識して、事業活動を自主管理の下、温室効果ガスの排出抑制に配慮したものに積極的に取り組むことが必要です。

①省エネルギー型事業活動の推進

- ・冷暖房の適切な温度設定など事業所でのエネルギー管理の推進
- ・事務用機器購入時の省エネルギー機器導入
- ・事業活動での省エネルギーの推進（ESCO事業の導入等）
- ・太陽光発電等新エネルギーの利用推進

②環境管理システムの導入等

- ・ISO14001、エコアクション21等の導入
- ・従業員への地球温暖化問題についての教育の実施
- ・環境配慮の方針、目標、取組内容、実績などを取りまとめた環境報告書の作成公表

③ごみの減量化・リサイクル

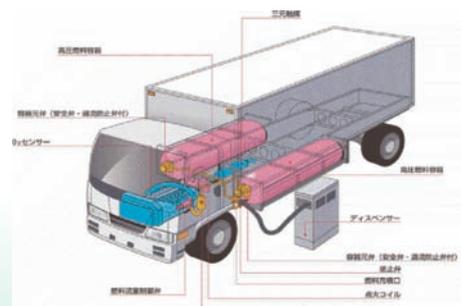
- ・使い捨て製品の使用自粛、グリーン購入の推進
- ・簡易包装の推進
- ・ごみの分別、リサイクルへの取組推進

④製品やサービスを通じた取組

- ・温室効果ガスの排出が少ない製品やサービスの開発
- ・輸送等業務で使用する車の低公害車導入
- ・製造過程での代替フロン漏洩防止、空調設備等の廃棄時の適正な処理



低公害車（ハイブリッド車）



低公害車（天然ガス自動車）

【行政の取組】

地球温暖化問題に対する県民や事業者の意識を高めるための普及啓発に努めるとともに、県民や事業者の自主的な取組に対する支援を推進します。

また、自らの事務事業に係る温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組みます。

①普及啓発

- ・地球温暖化防止活動推進センターや地球温暖化防止活動インストラクターと連携した情報提供、普及啓発
- ・環境学習アドバイザーの派遣など環境学習の推進
- ・環境フェアなど啓発イベントの実施

②取組支援

- ・中小事業者への環境管理システムの導入に対しての情報提供
- ・自主的な温暖化防止活動に対しての表彰

③率先実行

- ・実行計画による取組を推進
- ・ISO14001の認証取得など環境管理システムの導入
- ・グリーン購入の推進
- ・事業活動の省エネルギー化の推進(ESCO事業の実施等)
- ・太陽光発電等新エネルギーの導入推進
- ・森林吸収量の確保のため森林・林業対策の推進
- ・都市公園等の公共公益施設等における高木の植栽など緑化の推進



地球にやさしい県民運動推進大会(H17.6)



第7回かごしま環境フェア(H17.10)



太陽光発電(県鹿児島合同庁舎)



太陽熱利用(県庁舎)

自然豊かなふるさと鹿児島，そして，かけがえのない地球を守り，よりよい地球環境を子孫に引き継いでいくため，県民一人ひとりの心掛けや環境保全に向けた具体的な取組が求められています。